

平成27年 7月16日

資料提供先 福山市政記者クラブ
府中市役所記者クラブ

芦田川で生き物調査
～ 水生生物による水質の簡易調査を実施します ～



水生生物調査状況（山手橋）



水生生物調査状況（府中新橋）

※写真は平成26年度調査

国土交通省福山河川国道事務所では、多くの子供たちの参加を得て調査することにより、川に親しんでもらい、河川愛護、水質などへの関心を高めていただくことを目的に以下の予定で調査を行います。

芦田川水系においては、この「水生生物による水質の簡易調査」を昭和59年から毎年実施しています。

○実施予定 : 平成27年7月24日(金)、8月4日(火)、8月18日(火)
※小雨決行(大雨、気象警報等の場合は中止)

○実施位置 : 別紙図のとおり

お問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所

副 所 長 おおくぼ まさひこ
大久保 雅彦

【担 当】調査設計第一課長 さかた しげみ
坂田 重美

TEL(084)923 - 2628(直通) FAX(084)923 - 2557

ホームページ <http://www.cgr.mlit.go.jp/fukuyama/>

平成27年度 芦田川水生生物調査実施概要

1. 調査目的

国土交通省福山河川国道事務所では、従来より河川管理者の立場から水質や生物等の調査を実施しておりますが、水生生物調査は特に川底に生息する水生生物を指標としてその分布状況を広く調査し、河川の水質状況を概観するとともに、中・高校生等多くの方々の参加を得て調査することにより川に親しんでもらい、河川愛護、水質浄化等への関心を高めてもらうことを目的とするもので、昭和59年から毎年実施しています。

2. 調査時期（参加予定者）

平成27年7月24日（金） めだかの学校
平成27年8月4日（火） 学校法人盈進中学高等学校 環境科学研究部
平成27年8月18日（火） 福山市立中央中学校、城西中学校

3. 調査地点

国土交通省福山河川国道事務所水質観測を行っている箇所を基に、下記の地点で行います。

芦田川水生生物調査箇所一覧表

| No | 水系名 | 河川名 | 調査実施 | | 調査日時（予定） |
|----|-----|-----|--------|------------|-------------|
| | | | 地点 | 所在地 | |
| 1 | 芦田川 | 芦田川 | 大井手頭首工 | 府中市久佐町地先 | 8月18日 14:00 |
| 2 | " | " | 府中新橋 | 府中市土生町地先 | 7月24日 10:00 |
| 3 | " | " | 山手橋 | 福山市山手町地先 | 8月4日 9:30 |
| 4 | " | 高屋川 | 白鷺橋 | 福山市神辺町川南地先 | 8月18日 9:30 |

※別紙位置図参照

4. 水質の指標生物について

別紙の指標となる水生生物の数を調べ、簡易的に水質判定をおこなう調査です。

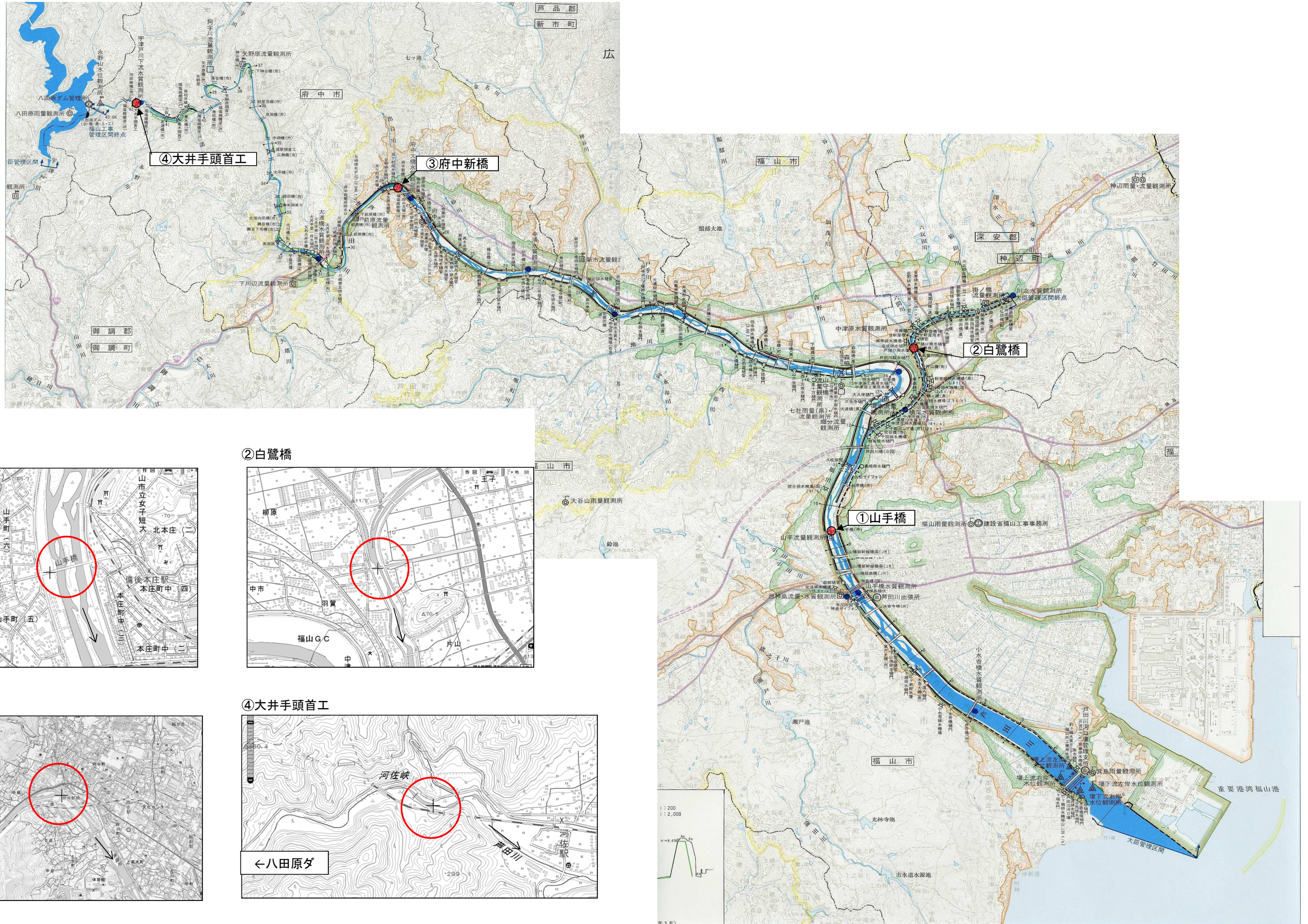
5. 平成26年度調査結果（参考）

芦田川水系では平成26年度には4箇所中3箇所「Ⅱ：ややきれいな水」と判定されました。

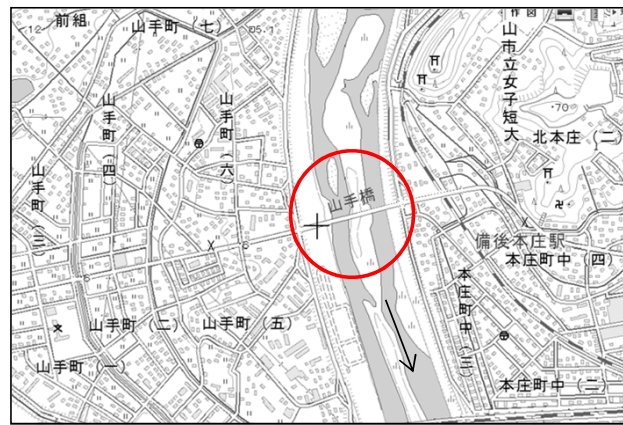
| 河川名 | 地点名 / 水質階級 | I | Ⅱ | Ⅲ | Ⅳ | 判定 | 参加者 |
|-----|------------|---|---|---|---|----|------------------------|
| 芦田川 | 大井手頭首工 | 1 | 5 | 0 | 0 | Ⅱ | 福山市立中央中学校 福山市立城西中学校 |
| | 府中新橋 | 2 | 7 | 0 | 0 | Ⅱ | めだかの学校 |
| | 山手橋 | 0 | 6 | 2 | 0 | Ⅱ | 学校法人盈進中学校高等学校 |
| 高屋川 | 白鷺橋 | 0 | 2 | 5 | 0 | Ⅲ | 福山市立中央中学校 福山市立城西中学校 |

※水質階級 I：きれいな水 Ⅱ：ややきれいな水 Ⅲ：きたない水 Ⅳ：とてもきたない水

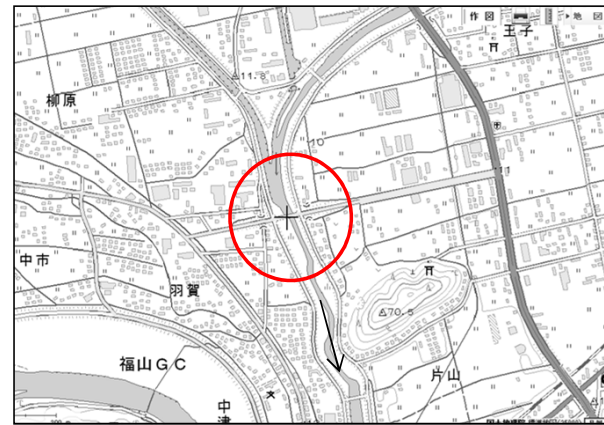
○平成27年度 芦田川水生生物調査 位置図



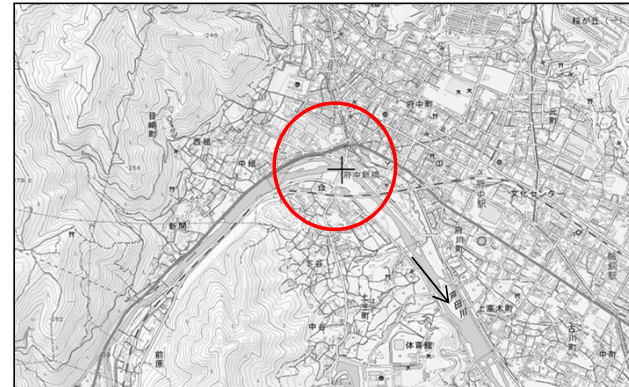
①山手橋



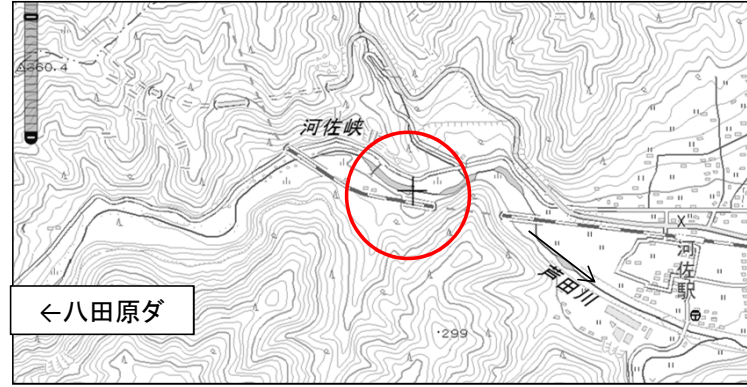
②白鷺橋



③府中新橋



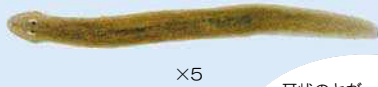
④大井手頭首工



川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

I きれいな水

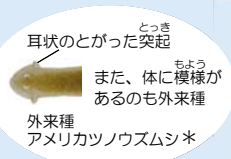


×5

実物大

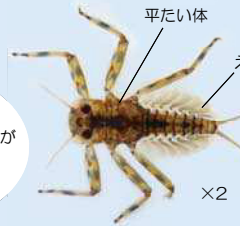
ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



×2

耳状のとがった突起
また、体に模様があるのも外来種
外来種
アメリカツノウズムシ



ヒラタカゲロウ類

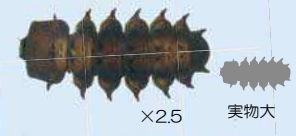
流れの速い石の表面にはりついている



実物大

カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石にはりついている



実物大

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である



ヘビトンボ

実物大

流れの速い石の下にひそんでいて、えものをおそう

ブユ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある

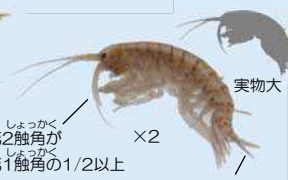


×5

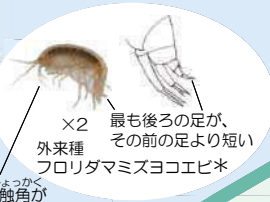
実物大

ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる



×2
しよっかく第2触角が第1触角の1/2以上
しよっかく第2触角が第1触角の1/2



×2
しよっかく第2触角が第1触角の1/2以上
しよっかく第2触角が第1触角の1/2
最も後ろの足が、その前の足より短い
最も後ろの足が、その前の足より長い
外来種
フロリダマシヨコエビ



×3

実物大



×3

実物大

ナガレトビケラ類

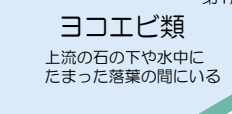
流れの速いところにいる



実物大

ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの石面に多い



ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる



×1.5

タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

I, II両方でみられる水生生物 (指標種ではない)

II ややきれいな水



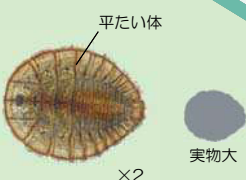
実物大



実物大

コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



×2

実物大

ヒラタドROMシ類

石の表面にはりついている



×1.5

ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶〜黒色



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの石面にいる



×0.5

カワナナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のアメリカカワツボは数mmと小型



×3

実物大

×10

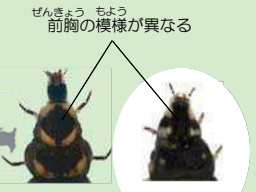
コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



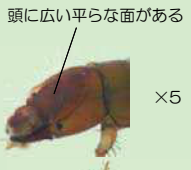
ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワナをえさとする



×2
ゲンジボタル

ヘイケボタル

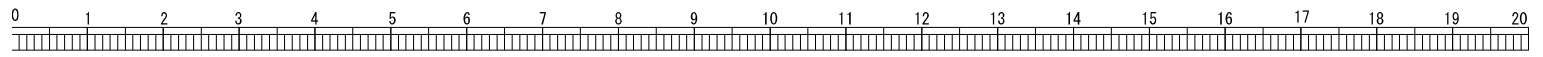


×5

オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



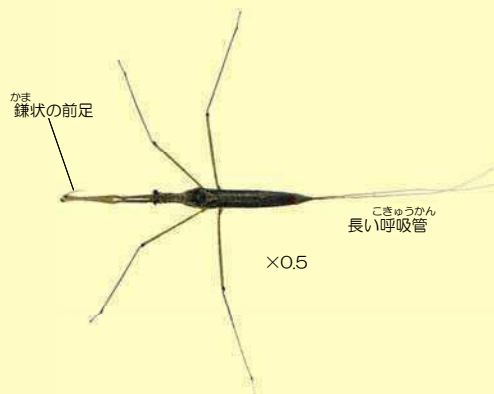
シマイシビル

背中に縦縞模様があるの伸びたり縮んだりする尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



x25

エラミミズ

尾部にえらがある流れのゆるやかなところにいる



実物大

左側

右側

サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き流れのゆるやかなところにいる

モノアラガイ類*



x0.5

アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種流れのゆるやかなところにいる



実物大

ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイロユスリカが多い



x6

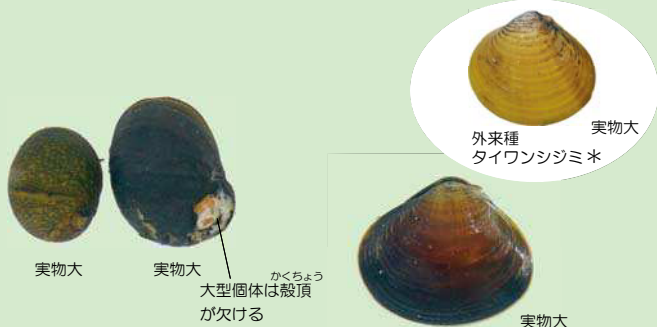
実物大

チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分(キチン板)がある

汽水域(海水が混じているところ)

Ⅱ ややきれいな水



実物大

実物大

大型個体は殻頂が欠ける

実物大

外来種

台湾シジミ*

実物大

イシマキガイ

石や護岸にはりついている淡水域にもいる

ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる淡水域にはマジミ*や外来種の台湾シジミ*がいる

Ⅲ きたない水



x4

x4

実物大

x4

x4

実物大

イソコツブムシ類

石の下にいるさわると丸くなる

ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

*のついている生物はよく似ていますが指標種(水質判定に使う水生生物)ではありません。